

平成 27 年 9 月 吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
国際原子力発電機器・部品コンソーシアム委員会

『国際原子力発電機器・部品サプライチェーン協力訪中団』 編成・派遣について

ご承知の通り、中国では今年に入り 4 基が運転を開始したほか、3 基が新たに着工したことにより、運転中の原子力発電所は 26 基、また建設中は 25 基となりました。中国政府は 2020 年までに運転中の設備容量を 5800 万 kW、同時点で建設中の設備容量を 3000 万 kW にすることを目標に掲げています。さらに、中国は国家戦略にしたがい原子力発電所の輸出を積極的に進めています。こうした動きに対し、「安全確保がないがしろにされている」、「生産、技術、プロセス、品質、人的資源等で各種の問題があり、製品の品質に影響している」といった問題点が指摘されています。

一般社団法人日本技術者連盟は、これまでに培った中国原子力界とのパイプを活かし、このほど標記訪中団を編成・派遣することといたしました。日本の優れた原子力発電機器・部品技術・製品は、中国が国内外で計画中の原子力発電所の安全確保に貢献するものと考えます。本訪中団では、中国の 3 大原子力事業者との間で、それぞれの強みを生かした Win-Win 関係の構築に向けて各事業者との間で忌憚のない意見を交換することを予定していますので、奮って参加いただきますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 : 2015 年 10 月 19 日 (月) ~ 10 月 24 日 (土) 6 日間
2. 訪 問 先 : 国家電力投資集団公司(国家核電技術公司、北京)
中国広核集団有限公司 (深圳)
秦山核電有限公司 (中国核工業集団公司)
海塩県国際フォーラム参加及び秦山発電所・「核電城」視察
3. 主 催 : 一般社団法人日本技術者連盟
4. 団 長 : 国際原子力発電機器・部品コンソーシアム委員長・佐々木宜彦 氏
5. 日 程 : 別紙参照

一般社団法人 日本技術者連盟
国際原子力発電機器・部品コンソーシアム委員会

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F

TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940 E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

日程

日付	予定	宿泊
10月19日(月)	羽田あるいは成田⇒北京	北京
10月20日(火) 午前 午後	国家電力投資集团公司合同会議 北京⇒シンセン	シンセン
10月21日(水) 午前 午後	中国広核集团有限公司合同会議 シンセン⇒上海	海塩
10月22日(木) 午前 午後	中核集团秦山核電有限公司合同会議 中国核電産業連盟会合	海塩
10月23日(金)	フォーラム	海塩
10月24日(土) 午前 午後	秦山原子力発電所見学 海塩県⇒上海⇒羽田あるいは成田	

(中国側の事情により、日程内容が変更になる場合もあります。予めご了承下さい。)

- ・募集人員 : 15名(最少催行人数10名)
- ・参加費用 : ￥580,000- (税込)
- ・通訳者 : ベテラン適任者
- ・添乗員 : 添乗員は全行程同行致します。
- ・ホテル : 一人部屋
- ・旅行主催 : 万達旅運株式会社ワンダートラベル
- ・総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構
- ・申込方法 : 添付申込書に必要事項記入の上、**2015年10月5日(月)迄**に
FAX (03-6229-1940) 又は gyomu1@jef-site.or.jp にお申込下さい。
- ・代金支払 : 総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます

参加費について

○参加費に含まれるもの

- I) 旅行上の諸費用
 - ・団体エコノミークラス航空運賃
 - ・燃油特別付加運賃、空港税等
 - ・ホテル宿泊費
(シングルルーム、税・サービス料 含む)
 - ・一部食事代
(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
 - ・現地陸上交通費
(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代等)
 - ・団長、事務局、添乗員同行費用
- II) 現地諸機関折衝及び手配料
 - ・『国際原子力発電機器・部品サブライ
チェーンフォーラム』
開催開業費・設営諸費用
 - ・打合せ会/現地配布資料代 他
 - ・現地事前打合せ出張諸費用
- III) 企画・運営費
 - ・企画運営費

○参加費に含まれないもの

- ・渡航手続き諸費用
(旅券取得費用、渡航手続き取扱料金等)
- ・個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップ等)
- ・集合時及び解散後の交通費
- ・超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・任意の海外旅行傷害保険
- ・障害・疾病に関する医療費

○取り消し料金

- ・旅行上の諸費用(航空運賃、ホテル宿泊費、現地地上交通費等)
実施日から起算し、さかのぼって30日前以降3日前まで
: 費用の20%
- 実施日から起算し、さかのぼって2日前以降1日前まで
: 費用の50%
- ・実施日当日の取り消しは、全額申し受けます。

○運営業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。

○その他

- ・参加費は、2015年9月14日現在の運賃及び、15名以上の参加に準拠したものです。
- ・ご出発前に参加人員に変更のあった時には、参加費用に変更される場合がありますので予めご了承下さい。
- ・尚、申込み後はキャンセルチャージが発生致しますのでご注意下さい。

海塩県原子力発電フォーラムプログラム

2015年10月23日(金)		海塩県海塩ホテル	司会
入場	8:20-8:30		
挨拶	8:30-9:00	1、海塩県共産党委員会書記沈曉紅 2、中国核能協会張理事長	徐劉華
講演	9:00-10:00	テーマ：中国原子力発展の現状と展望 講演者：中国發展委員会エネルギー局	徐劉華
休憩	10:00-10:30		
記念撮影			
講演	10:30-11:10	テーマ：「中国核電城」の発展と地域原子力産業 講演者：海塩県人民政府県長 章劍	徐劉華
講演	11:10-11:50	テーマ：秦山原子力発電所の現状と計画 講演者：中核集団秦山原子力発電所総経理	
昼食	12:00	海塩ホテル	
講演	14:00-15:00	テーマ：中国原子力発電所の建設と地域との調和發展 講演者：深圳市、連運港市、三門市市政府幹部	張華祝
休憩	15:00-15:10		
講演	15:10-16:30	テーマ：中国核関連産業の發展現状 講演者：広核集団、国家核電、中核集団関係者3人	張華祝
質疑	16:30-17:30		章 劍
閉幕	17:30-17:50		沈曉紅
晚餐会	18:00	海塩ホテル	

2015年10月24日(土) 秦山発電所、中国核電城見学	
同行案内	徐劉華 王曉波
見学時間	8:00~12:00

1. 主催：

中国核能協会

海塩県人民政府

中国核工業集团公司

2. 参加者 (予定)

2.1 政府

1	張国宝	国务院エネルギー委員会	主任
2	張家利	国家核安全局	処長
3	陳海濤	浙江省エネルギー局	副局长
4	金友華	浙江省經濟情報委員会	副主任
5	顾培龍	浙江省核応急事務室	副主任
6	季明清		
7	劉伟瑞	上海市政府核電事務室	副主任
8	未定	嘉興市人民政府核応急事務室	
9	劉振軍	広東省江門市核応急事務室	副主任
10	黄焕辉		総工
11	戚盼德	江蘇省連雲港市連雲区	政府事務室副主任
12	劉曉軍	遼寧省興城市	主任
13	徐忠臣		副主任
14	王 凯	遼寧省瓦房店市核電事務所	主任
15	周衍学	浙江省三門县核応急事務室	主任
16	韩一雷		副主任
17	章 亮		科長
18	張洁非	山東省煙台市核電事務所	副主任
19	盖雲杰		係員
20	沈曉紅	海塩県人民政府	書記
21	章 剑	海塩県人民政府	県長
22	謝剑華	海塩県人民代表会	主任
23	陸 瀛	海塩県政治協議会	主席
24	徐瀏華	海盐县核応急事務室	主任

2.2 研究院

1	岳維宏	中国原子能科学研究所	副總工程師
2	李卓群	中国核動力研究院	副院长
3	楊曉奇	中科華核電技術研究院	所長
4	劉志銘	蘇州熱工研究院	經理
5	邓映英		工程師

2.3 協會組織

1	張華祝	中国核能行業協會	理事長
2	李永江		副理事長
3	郑本文	浙江省核学会	理事長
4	沙 睿	中国核能行業協會	情報化專門委員會

2.4 中核集團

1	庄火林	中国核工業建設集團	總工程師
2	石伯軒		處長
3	李大寬	秦山原子力發電所	書記
4	吳 崗	中核核電運轉管理有限公司	書記
5	俞 江	秦山原子力發電所	事務所主任
6	李大林	中核核電運轉管理有限公司	事務所主任
7	陳衛國	秦山原子力發電所	副書記
8	林德舜	秦山原子力發電所	總經理

2.5 広核集團

卢長申	中国広東核電集團	總經理助手
姜 雲		管理部
柴曉岩		浙江省子会社副社長
黄意財		經理

2.6 国家電力投資集団

1	汪映荣	国家電力投資集団	核電部主任
2	彭疆南		副処長
3	顾 群		經理
4	伍 浩		副処長

2.7 五大電力

1	崔紹章	中国華能集団	核電部副主任
2	張天翔		核電部副処長
3	阮大伟	中国大唐集団	核電部副主任
4	高明石		副処長
5	孫 亮	華能集団遼寧核電準備処	主任
6	李少傑		經理
7	侯 旭		副經理
8	張 勇	中核国電漳州能源有限公司	総經理

2.8 外国企業

1	任曉輝	フランスアレヴァ集団	副經理
2	冯 磊		地域販売部長
3	阮養強	カナダCANDU ENERGY INC	副社長

2.9 核関連国内企業

1	孟北方	中国第一重型機械有限公司	核電部副主任
2	何 明		
3	黄貴東	中国核工業二三建設有限公司	書記
4	崔紀浩	上海電氣電站設備有限公司	核電部主任
5	茅 辰		經理
6	馬昌盛	ハルビンタービン有限公司	サービス部部长

7	陳鑑平	中核蘇バルブ科技有限公司	書記
8	李 奇	上海自動化器械有限公司	核電部副主任
9	季開平	華興建設有限公司	總經理助理 核电事业部党委书记
10	朱 琦		秦山項目經理
11	楊 波	西安核器械警報設備有限公司	副經理
12	朱阿興	無錫市藍星壓力容器有限公司	總經理
13	張少俊		副總經理
14	禹德彬	安徽天康有限公司	副總經理
15	万 宁		經理
16	杨 峰	山東宏達科技有限公司	副總經理
17	方国強	浙江創想節能科技有限公司	副經理
18	陳根衛	浙江省火力發電建設有限公司	副總經理
19	顾 敏		副總經理
20	呂宏伟	浙江省宏伟實業公司	會長
21	林文軍	フランス瓦卢瑞克 曼内斯曼鉄鋼パ イプ有限公司	販売部

22	齐德穩	上海普プラスチック科技有限 公司	總經理
23	滕紅康	浙江中特鋼有限公司	副總經理
24	陳月祥	美克斯機械製造有限公司	總經理
25	沈惠明	嘉興繁榮電器有限公司	會長
26	肖海樂	嘉興佳樂科儀有限公司	會長
27	朱紅梅	浙江欣興工工具有限公司	副總經理
28	夏昌明	浙江国之光照明科技有限公司	會長
29	沈万中	海盐力源電力設備有限公司	會長
30	戴 平	浙江博凡動力裝備有限公司	總經理
31	王惠明	嘉兴多角電線有限公司	販売部長
32	林毓琪	琦洲電気有限公司	販売部長
33	苏晶明	浙江富丽华铝业有限公司	總經理

34	楊金玉	海盐科路人力资源有限公司	総経理
----	-----	--------------	-----

2.10 メディア

1	楊 佳	人民網	副主任
2	周雷鋼		編集長
3	謝 龍		副編集長
4	方开燕		記者
5	章 然		記者
6	朱 诸	新華社通信	記者
7	李永強	中国能源報	記者
8	杨新英	中国核工業報	記者
9	黄 焯	国際金融報	記者
10	李 茸	浙江日報	記者
11	呂 博	浙江テレビ	記者

《国際原子力発電機器・部品コンソーシアム》とは、

我が国のエネルギー安全保障にとってかけがえのない原子力産業基盤を存続させることは、我が国の将来にとって不可欠です。もちろん、我が国がこれまでに蓄積してきた経験は、原子力発電所の新設を計画する各国にとっても有益であることは間違いありません。

原子力安全の確保にとって重要なのは、高い信頼性の機器・部品が供給できる体制を維持することにあります。一方で、サプライチェーンがグローバル化しリスク管理が難しくなることも予想されます。こうした状況に対応するとともに、我が国の原子力発電機器・部品産業を統合することを目的として「国際原子力発電機器・部品コンソーシアム」を設立することと致しました。原子力発電所の輸出にあたっては、機器・部品の現地生産化が求められるケースが多くなっています。このため本コンソーシアムは、日本だけでなく中国や台湾等の原子力発電機器・部品業界を統合するプラットフォームともなります。

<活動内容>

- ① 日本国内の原子力発電機器・部品メーカーの海外市場進出にあたっての広報活動（デジタル展示会、技術フォーラムの開催等）
- ② 現地進出（中国浙江省海塩県「核電城」等）に関する活動
- ③ 現地企業等との提携活動（JV 設立等）
- ④ 原子力発電機器・部品メーカーの IOT プラットフォーム構築研究

《国際原子力発電機器・部品コンソーシアム》にご関心をお持ちの場合には事務局までお問い合わせください。

『国際原子力発電機器・部品サプライチェーン協力訪中団』
参加申込書一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF)
国際原子力発電機器・部品コンソーシアム委員会 行 FAX 03-6229-1940

※該当欄にチェックして下さい

- 日本から参加します。
 現地から参加します。(参加費用につきましては別途お見積書をお送り致しますので、詳細は事務局までお問い合わせ下さい。)

フリガナ			
会社名・団体名			
英文名			
所属名/役職名			
英文名			
フリガナ	生年月日	大正・昭和・平成・西暦	
参加者氏名		年	月 日
パスポート記載名 (ローマ字)	学位		
E-mail	携帯電話番号		
勤務先	〒 ー ー ご住所		
	電話番号	FAX番号	
ご自宅	〒 ー ー ご住所		
	電話番号		
フリガナ			
担当責任者名	印		
所属名/役職名			
旅券(パスポート)について: 今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。(日本帰国日までの残存が必要)			
① はい <input type="checkbox"/> 旅券番号: _____ 有効期限: 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日			
② いいえ <input type="checkbox"/> 現在申請中 <input type="checkbox"/> 旅券申請書類の作成代行を依頼する。(有料)			
<input type="checkbox"/> 自分で申請・取得する			
喫煙の習慣	有・無	マイレージをお持ちの方は番号を記載して下さい	
通信欄 (ご質問・ご希望等お書き下さい)			

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス(以下「旅行サービス」といいます)を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア. ご本人の同意がある場合

イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催: 一般社団法人日本技術者連盟

http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL: 03-6229-1950 FAX: 03-6229-1940

旅行主催: 万達旅運株式会社 ワンダートラベル

TEL: 03-5157-2207 FAX: 03-5157-2208